

町報

かわにし



◆町公式フェイスブック◆
町の情報を気軽にゲット!



◆町ホームページ◆
町の情報を要チェック!



深まる秋を 繊細にスケッチ

平成30年

11

vol 1174



本間喜一さんは大叔父にあたる

小池ふみさん（玉庭）

■ 私の料理を褒めてくれた ■

愛知大学長を退任した後、昭和47年～57年頃の夏に1週間ほど玉庭を訪れていました。私は、本間さんのために食事を作り、夜は様々な興味深い経験談に耳を傾けていました。

私が作った料理を食べると「あなたの料理は美味しい」と褒めてくれたのが良い思い出です。ちなみに本間さんは魚が嫌いだったので、夏野菜料理を多く出していました。本間さんが話してくれることはどれも興味深い中身でしたが、やはり愛知大学創設時の苦労話が印象に残っています。資金集めなどの苦労をともにした林毅陸（初代学長）と小岩井浄（3代学長）の名前は、本間さんの話によく登場していました。

■ 「父の存在」が大きかった ■

本間さんは、素晴らしい経歴をお持ちの方なのに、私と接していても偉ぶる様子は全く無く、誰にでも丁寧に接する人でした。

また、「苦労しないと良い人間になれない」とよく話していました。玉庭村長だった父の小池熊吉が重ねた苦労を見て、父に負けてられないと奮起して人生を過ごしてきたのだと思います。

小池家に残っている学生時代の本間さんのノートには、上下左右5mmの隙間を除いてびっしりと字が書かれています。私は、子や孫にも「これぐらいびっしり書いて学んだ人が小池家にはいるんだよ」と教えています。

愛知大学との交流事業

町では平成26年に愛知大学と「連携・協力に関する協定」を締結し、双方が交流を深める各種事業を行っています。

学生によるフィールドワーク



県外の学生目線で町の魅力を掘り起そうとフィールドワーク（現地調査）を実施し、毎年10名以上の学生が来町しています。漬物などの食文化や農業、町の花ダリヤに興味を持つ学生が多く、町民へのインタビューを通して感じたことを動画やポスターなどの作品にまとめ、研究成果を発表いただいています。なかには、町の食や文化のファンになり、2年連続で来町する学生たちもいます。

本間喜一先生を顕彰する講演会

本間先生の功績を町民に広く伝えていくため開催しています。

愛知大や本間先生に縁のある講師のお話を通して、先生の偉大さを深く理解する機会となっています。



愛知大での「川西町フェア」

大学内の学生食堂で毎年11月に川西町フェアを開催しています。

本間先生の故郷の味である紅大豆や玉こんにゃくを使用したメニューや芋煮を提供するほか、本町の紹介パネルを展示しています。



What is 「愛知大学」



- 概要 愛知県の名古屋・豊橋・車道にキャンパスを構える私立大学
- 学生数 9,837人（今年5月現在）
- 学部 法学部、経済学部、経営学部、現代中国学部、国際コミュニケーション学部、文学部、地域政策学部

特集：川西町と愛知大学（愛知県）

"知を愛し 人を愛した教育者" を通した「絆」の交流

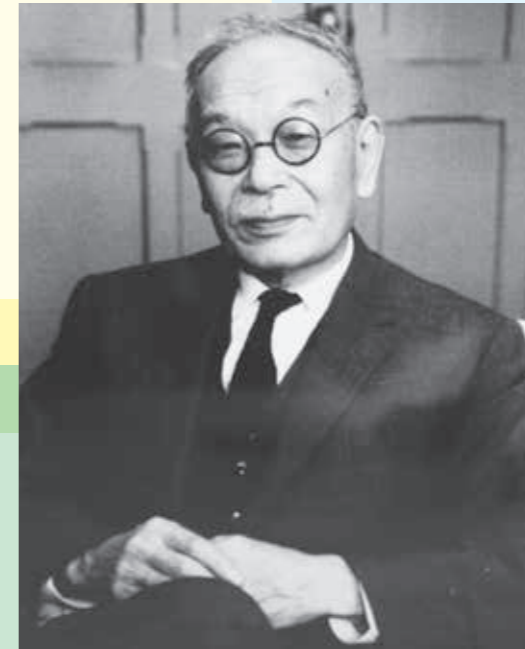
町では今年3月、「本間喜一顕彰基金条例」を制定し、本間喜一顕彰会名誉会長の越知専さん（愛知県）による寄付金5千万円を活用した給付型奨学金制度を立ち上げました。

今回は、玉庭地区出身で愛知大学を創設した本間喜一先生の功績や人柄、町と愛知大学が連携・交流する事業、給付型奨学金制度についてご紹介します。

本間先生は「愛知大学を卒業した若者たちは地元を支える人材になってほしい」という願いを持ち、学生をとっても大切にしていました。それを表わすエピソードに「愛知大学事件」があります。

1954年、犯罪捜査のために大学内に無断で立ち入った当時の豊橋市の警察官を学生が捕縛し、学生12名が逮捕される事態に発展しました。

これに対し、本間先生自らが、学生たちの弁護人となって学生を全面的に弁護。2年後に起訴された9人のうち7人の刑は免除、2人の無罪、2人の犯人隠匿に5千円の罰金という「有罪だが実質無罪」という判決が下されました。



愛知大学名誉学長

ほんまきいち
本間喜一

(1891～1987年)

学生を守ることに尽力 愛知大学を設立

敗戦にともない、中国にあった東亜同文書院大学は閉校を余儀なくされました。教職員や学生は、日本に引き揚げても帰るべきところがなく、新たな受入先が必要な状況でした。そして本間先生が中心となり、日本のどこかに新しい大学を創ろうという動きが起こりました。

本間先生は大学設立のため、場所の選定や資金集めなどに奔走しました。結果、朝鮮半島や台湾など外地の学校から引き揚げた学生・教職員を收容する大学という位置づけで、1946年に愛知大学を設立しました。大学名は所在する県名を由来とせず、「智（知）を愛する」精神を尊ぼうということから命名されました。

玉庭村長をしていた小池家に生まれ、小学校から成績優秀。叔父である本間則忠さんの家に養子に入った後、中学校から東京で過ごし、東京帝国大学（現 東京大学）へ進学し、現在の司法試験に当たる試験にはトップで合格しました。

大学卒業後、東京地裁で司法修習をし、その時の先輩であり、戦後初めての最高裁判所長官三淵忠彦さんに指導を仰ぎ、最高裁判所の初代事務総長に就任し、3年間務めました。

しかし、人が人を裁くことに疑問を感じ、またさらなる勉強に励むため東京商科大学（現 一橋大学）予科教授となり、1950年に名誉教授の称号が授与されました。

中学校から東京で学ぶ 東亜同文書院大学の学長に

東京商科大学の教授を経て、1940年に東亜同文書院大学（中国・上海）の副院長兼教授に、1944年には学長に就任しました。

上海は当時東洋一の国際都市であり、その上海で学ぶために県から推薦を受け、日本各地から選抜された優秀な学

生が受験しました。合格すれば、全寮制で費用は全額負担だったため、難関かつ名門校でした。

第二次世界大戦での敗戦で閉学するまでの45年間で、約5千人の卒業生を送り出したと言われ、卒業生は、中国語・英語・フランス語・ロシア語などに通じ、外交官や貿易商社、学者、政治家などになって活躍するなど、多くのエリートを輩出しました。*

愛知大学進学者への給付型奨学金制度を創設

山形県川西町・愛知大学本間喜一奨学金

■ 目的

東北六県（青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県）から愛知大学へ進学・就学し、卒業後、地域貢献を志す者の人材育成を図るため、実施します。

■ 奨学金額（給付型）

総額300万円（年額75万円、4年間継続支給）
※川西町が給付します（初年度は8月給付予定）。
※継続には条件があります。



■ 奨学生数 3名以内

■ 対象学部 地域政策学部 地域政策学科

■ 申請資格 下の条件にすべて該当する者

- ① 地域政策学部地域政策学科に入学した者。
- ② 申請者が在学していた高等（中等教育）学校等の所在地及び申請者の保護者の居住地が東北六県の者。

■ 奨学金給付条件

愛知大学在学中の3年次終了までに、川西町にて実施するインターンシップを2回行うこと。（各5日間）

■ 奨学金給付までのプロセス

- ① 2019年度進学者に対し募集 【2019年4月～5月】
- ② 奨学金給付申請 【2019年5月～6月】
- ③ 申請書類等により面接 【2019年6月～7月】
※豊橋校舎で実施予定
- ④ 奨学金給付決定（4月に遡及し給付） 【2019年8月】

■ その他

- ① 学生の身分を失ったとき、学則の定めにより停学又は退学の処分を受けたとき等は、奨学生の資格を取り消し、当該年度の奨学金を返還していただきます。
- ② 3年次終了時までに、川西町にて実施するインターンシップを2回行わなかった場合は、4年次の奨学金は給付いたしません。

【お問い合わせ先】

愛知大学企画部入試課 ☎052-937-8112・8113（平日午前9時～午後5時）
川西町まちづくり課 地域振興グループ ☎0238-42-6613

※上記内容は平成30年11月現在のものであり、都合により内容変更、または見直しがなされることがあります。

学びの恩返しのため 本間先生の故郷へ寄付

平成29・30年にわたり、計5千万円を町へ寄付いただいた越知専さんが抱く、本間喜一先生への想いや今回の寄付への期待などをご紹介します。



おちまこと
越知専さん（88歳 愛知県豊橋市）

○ 本間喜一先生との思い出

私は昭和28年に愛知大を卒業したのですが、本間先生とは在学中に面識はなく、卒業後に継いだ家業の理髪店に本間さんが来店したことから家族ぐるみでの付き合いとなりました。

本間先生と付き合いの中で、疑問を持つ大切さや人に尽くす精神など多くのことを教わりました。また、お店に本間先生を慕う研究者や取り次ぎを求める実業家が多く足を運んだことが、のちの私自身の人脈や恵まれた人生につながりました。

そのほか、本間さんが設立に奔走した愛知大の成り立ちを客員研究員として調査した経験もあります。

○ 受けた恩を「新たな学び」に

本間先生にお世話になった恩返しをしようと、人柄や功績をまとめた本を自費出版したほか、「本間喜一顕彰会」も設立しました。

本間先生が大学設立時に描いていた農学部設置構想の具現化にも、情熱を注いできました。長年の活動の結果、70年前の構想が地域政策学部の「食農環境コース」という形で今春に実現しました。

そして、本間先生への最後の貢献と思い、私の年齢もあり記念的な意味合いもありますが、川西町へ5千万円の寄付を決めました。



▲平成22年に胸像を寄贈いただいた



▲平成30年に講演のため来町された

○ 川西町へ寄付した「想い」

私が思い描く理想として、本間先生の出身であり農業が盛んな山形県、ひいては東北地方から食農環境コースへ多くの学生を迎えたいという想いがあります。

川西町には愛知大進学者への給付型奨学金制度を策定いただき、感謝しています。置賜農業高校の生徒はもとより東北地方の高校生には、全国有数の農業生産を誇る愛知県豊橋市をフィールドに学び、卒業後は東北に戻って農業界のリーダーとして力を発揮してほしいと思います。また、建学の精神をその郷里で広め、全国に「愛大」の名を発信して行ってほしいと思います。

○ 愛する川西町への「想い」

今回つながりが深まった私の愛する川西町は、本間先生はもちろんのこと、戦後を代表する作家・劇作家の井上ひさし氏、国立国会図書館長を務めた大滝則忠氏など、各界に著名人を多く輩出しています。しかし、これらの事実が全国津々浦々まで知れ渡っているとは言い難い状況です。

川西町民は、そのことをもっと町の自慢としてPRし、全国に「文化人のまち」をアピールして行ってほしいと思います。

平成30年度 川西町民表彰

11月3日(土)祝、町議場で平成30年度町民表彰式典を行いました。

町では昭和50年に「川西町表彰条例」を制定、また昭和56年から「川西町長堀堰農業振興基金条例」、平成27年から「川西町商工業経営近代化育成基金条例」に基づく表彰を行い、それぞれの分野でご活躍された次の方々に表彰状と記念品を贈呈しました。

川西町表彰条例表彰 地方自治功勞・産業経済振興功勞



故松浦衛さん(上小松)
昭和50年に町商工業理事に就任以来、平成30年まで約43年間にわたり商工業の振興発展に貢献されました。特に、平成7年から30年まで約23年間は会長として、数々の地域経済活性化事業や地域振興事業、商工会運営の円滑化に尽力されました。

町水道委員会委員長、町土地開発公社理事なども歴任され、産業経済の振興発展にも大きく寄与されました。

地方自治功勞・産業経済振興功勞



山田順一さん(朴沢)
平成15年、山形おきたま農業協同組合経営管理委員に就任以来、平成30年6月まで14年6箇月間の長きにわたり役員として在職し、組合と地域農業の発展に大きく貢献されました。平成27年6月からは副組合長及び県農業協同組合中央会代表監事を歴任されました。

町あしたづくり懇談会委員、町まちづくり委員会委員、町新庁舎整備検討委員会委員等も歴任され、町行政の発展にも大きく寄与されました。

教育振興功勞・公益寄与



越知専さん(愛知県)
本町出身で愛知大学を創設された故本間喜一氏への顕彰と人材育成を図るため、平成22年に本間喜一氏の胸像、関係書籍、寄付金、展示パネルを寄贈されました。さらに、愛知大学進学者の就学支援のため、平成29・30年度には多額の金員を寄贈されました。

これにより、愛知大学と本町との新たなつながりが生まれるとともに、同大学進学を目指す学生に明るい希望を与えるなど、交流推進及び教育の振興に多大な貢献をされました。

社会福祉功勞



島貫明さん(上小松)
平成10年から6期18年間、町民生委員児童委員として住民生活の安定や地域の問題解決に貢献されました。

また、平成12年から6期18年間の長きにわたり、米沢人権擁護委員協議会委員として人権に関する啓発活動に貢献されました。この間、常務委員、副会長、会長を歴任されました。平成18年から30年まで町社会福祉協議会が実施する心配ごと相談事業の相談員として活動され、町民福祉の向上にも大きく寄与されました。

川西町長堀堰

農業振興基金条例表彰



井上充さん(高山)
平成16年7月の設立から14年間、町大豆種子生産組合初代組合長として組織の充実、優良大豆種子の安定生産・供給に尽力されました。

また、町水稻種子生産組合組合長、町酪農振興協議会会長を歴任されました。さらに、苅・高山地区基盤整備推進委員会、同地区土地改良事業推進委員会の委員長として、地域農業の基盤強化や活性化に向けた牽引役として活躍されており、本町農業の振興発展に寄与されました。

川西町長堀堰農業賞



佐藤総一さん(高豆蔻)
平成24年に山形おきたま農業協同組合経営管理委員として、平成27年からは理事に就任し、2期6年にわたり農業者所得の増大と持続可能な力強い地域農業の実現に尽力されました。

また、川西中央ライスステーション利用組合組合長、こうぞく地区基盤整備事業施行委員会委員、町農業委員会委員を歴任され、生産コストの低減、地域農業の基盤強化、農地利用の最適化など本町農業の振興発展に寄与されました。

川西町商工業経営近代化

育成基金条例表彰



伊藤孝さん(上小松)
総合建設業の代表として、土地改良事業に関わり農業経営基盤整備の先頭に立つと共に、生活基盤の整備や文化教育施設の建設に取り組み、町の社会資本整備に大きく寄与されました。

また、東北土地改良建設団体連絡協議会会長や町建設業協会会長として建設業及び地域産業の振興発展にも大きく貢献されました。さらに、住宅建設事業や農業法人の運営を通して、雇用の安定と若者の定着化に大きく寄与されました。

【町】緑と愛と丘いきいき顕彰



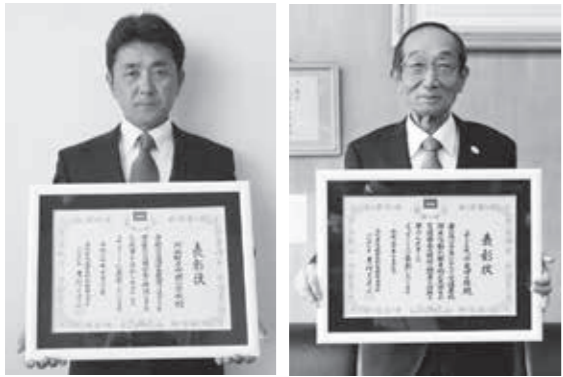
▲川西中学校男子ホッケー部のみなさん

今年8月に開催された全日本中学生ホッケー選手権大会において第3位という快挙を成し遂げた川西中学校男子ホッケー部が、町のスポーツの発展に貢献し町民に感動と希望を与えたとして、顕彰されました。

この顕彰は平成22年に創設され、過去には地域活性化などで功績を上げた団体・個人に贈られています。通算顕彰件数は今回で5件目となります。

☎ 42 16610
町総務課 行政管理グループ

【県】交通安全対策協議会長表彰



▲中郡小学校片倉和之校長(左)ときらりよしじまネットワーク星野廣志理事長(右)

よしじまっ子見守り隊(功労者の部)と中郡小学校(優良学校の部)が県交通安全対策協議会長(知事)表彰を受賞されました。

よしじまっ子見守り隊は、朝夕の立哨の他、学校の長期休暇中も積極的に児童・生徒に声掛けを行うなどの活動が評価され、町としては18年振りの受賞となりました。また、中郡小学校は、平成22年度の犬川小学校以来8年振りの受賞となりました。

☎ 42 16616
町住民生活課 生活環境グループ

【置賜地区】優良社会教育関係職員表彰



▲渋谷清三さん

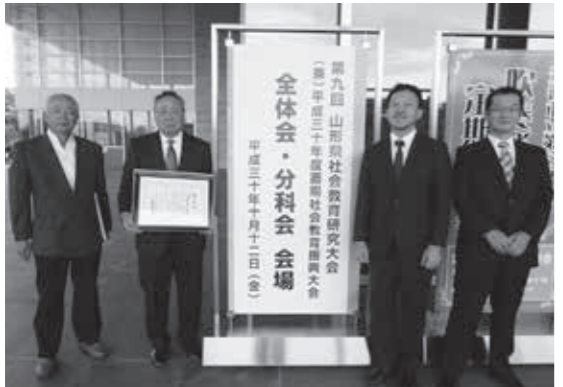
置賜社会教育振興大会にて、渋谷清三さん(上小松)が、置賜社会教育振興会より置賜地区優良社会教育関係職員として表彰を受けました。

渋谷さんは、町体育振興公社職員を永く務められ、置賜地域全体のスポーツ振興と発展にご尽力いただき

ました。

☎ 44 12843
町生涯学習課 生涯学習グループ

【県】社会教育連絡協議会「公民館等」表彰



▲犬川地区交流センターのみなさん

県社会教育研究大会にて、犬川地区交流センターが、社会教育活動に対し顕著な実績をもつ施設として表彰を受けました。

同施設は、年間を通じ様々な学習機会の提供、世代間交流、国指定史跡である下小松古墳群の学習会など、地域の特色を生かした多彩な学習活動を実施し、社会教育の振興発展に努められていることから、このたびの受賞となりました。

☎ 44 12843
町生涯学習課 生涯学習グループ

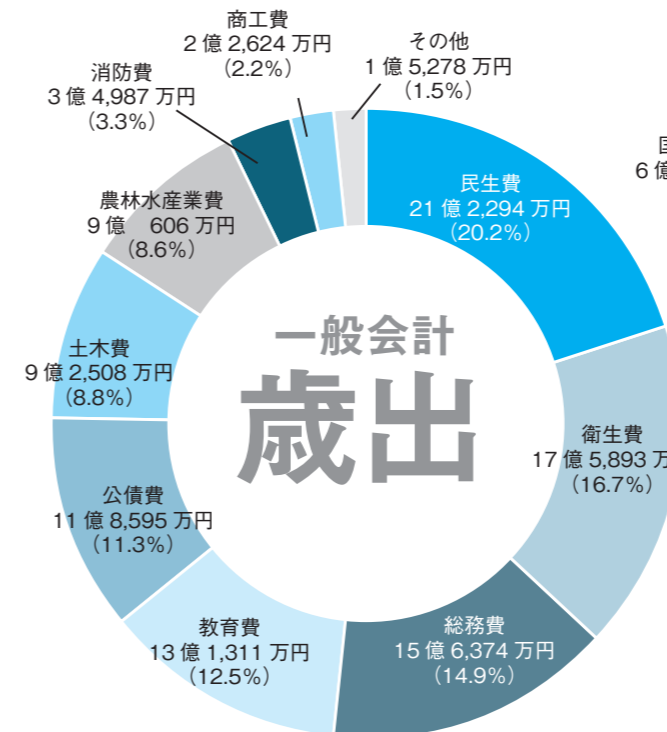
平成29年度

決算公表

町の財政状況と税金の使いみち

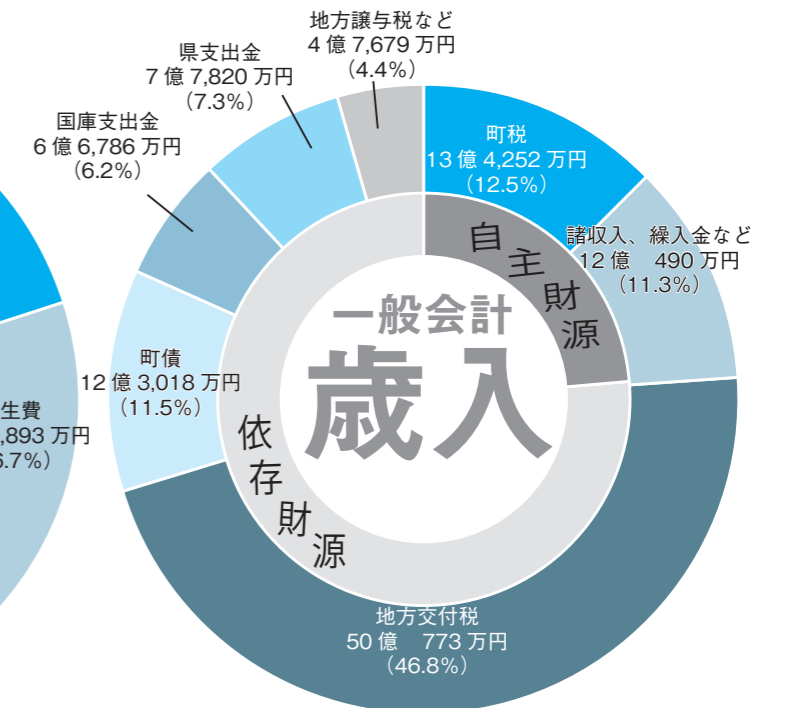
歳出総額

105億470万円
(前年比4億7,247万円減)



歳入総額

107億818万円
(前年比5億4,447万円減)



◆歳入の状況

平成29年度の一般会計決算額は、歳入が107億818万円、歳出は105億470万円、歳入、歳出差引額は2億348万円でした。このうち翌年度に繰り越した事業分を差し引くと、2億343万円の繰越額となりました。なお、平成28年度決算と比較すると、歳入で5億4447万円の減(4.8%の減)、歳出で4億7247万円の減(4.3%の減)でした。

町民のみなさんに納めていただいた町税は、13億4252万円で構成比は12.5%を占め、前年度対比0.3%の増でした。町の最大財源である地方交付税は、50億773万円で構成比は46.8%を占め、前年度対比1.0%の減でした。このうち公立置賜総合病院分を差し引いた、町に対する純粋な交付税額は36億2262万円で、前年度から1077万円の増でした。特定財源では、国庫支出金が前年度対比11.4%の減でした。県支出金は、前年度対比25.1%の減でした。町債は、前年度対比15.2%の減でした。

☎ 4216611
町民未来づくり課 財政グループ



平成29年度は、このような事業に税金を活用しました。

◇歳出の状況

■土木費



▲除雪状況

冬期交通確保事業 3億4,884万円
虚空蔵山西線道路改良工事 4,248万円
橋梁長寿命化修繕整備事業 4,228万円
住宅建設支援事業 1,798万円
花丘町下小松線防雪柵設置工事 407万円

●町民1人あたり 59,961円

■農林水産業費



▲かわにし森のマルシェ

多面的機能支払交付金事業 2億2,806万円
町有牛貸付管理事業 7,455万円
中山間地域等直接支払推進事業 3,255万円
6次産業化推進事業 2,196万円

●町民1人あたり 58,728円

■教育費



▲修繕された玉庭小プール

ふれあいの丘(パークゴルフ場)整備事業 4億3,875万円
プール修繕事業 2,949万円
学区再編整備事業 1,791万円
南東北インターハイ開催事業 188万円

●町民1人あたり 85,112円

■公債費

●町民1人あたり 76,870円

■総務費



▲山形かわにし豆の展示会

ふるさとづくり基金管理事業 1億1,334万円
庁舎建設基金管理事業 1億2万円
地域おこし協力隊事業 4,186万円
かわにし未来ビジョン主要プロジェクト推進事業 2,980万円
定住移住推進事業 762万円

●町民1人あたり 101,357円

■民生費



障がい介護給付等事業 3億4,755万円
障害者地域生活支援事業 1億1,676万円
子育て支援医療事業 5,556万円
地域子育て支援事業 254万円

●町民1人あたり 137,603円

■衛生費



▲町交流館あいばの壁画

一般廃棄物収集運搬事業 5,140万円
合併処理浄化槽設置整備事業 1,200万円
地域と連携したCO₂排出削減促進事業 326万円
健康増進事業 66万円

●町民1人あたり 114,009円

■その他(消防費・商工費・議会費等)

●町民1人あたり 47,245円

◇財政健全化判断比率

平成19年度決算より財政健全化にかかる各指標の公表が義務付けられました。これは、財政状況の悪化している県や市町村が早期に健全化に向けた対策を取るよう定められたものです。

健全化判断比率	平成29年度 川西町の状況	早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
実質赤字比率	-	14.27%	20.0%
連結実質赤字比率	-	19.27%	30.0%
実質公債費比率	11.9%	25.0%	35.0%
将来負担比率	128.5%	350.0%	-

公営企業会計にかかる 資金不足比率	平成29年度 川西町の状況	早期健全化基準 (イエローカード)
水道会計	-	20.0%
下水道会計	-	
農集排会計	-	

各比率とも基準を超えるものではありませんでしたが、今後とも健全経営に努めてまいります。

◇企業会計・特別会計の決算

会計別	歳入額	歳出額
水道事業会計		
収益的収入・支出	4億9,520万円	4億7,976万円
資本的収入・支出*	3,085万円	1億8,245万円
国民健康保険事業特別会計	19億8,920万円	19億3,823万円
下水道事業特別会計	4億9,937万円	4億9,219万円
農業集落排水事業特別会計	9,063万円	8,702万円
介護保険事業特別会計	18億8,091万円	18億3,436万円
後期高齢者医療特別会計	1億6,808万円	1億6,576万円

*資本的収入額が資本的支出額に対して不足する分は、消費税資本的収支調整額243万円及び損益勘定留保資金1億4,917万円を補てんしました。

※町民1人あたりの額は、平成30年3月31日現在の住民基本台帳人口1万5428人を基に算出しています。各数値は単位未満を四捨五入して端数処理をしています。

安全・安心な交通確保のため

除雪作業にご協力ください

町では安全・安心な冬期交通を確保するため、毎年万全な除雪体制をとって除雪作業を進めています。本町の除雪はすべて業者に委託しており、新積雪の深さが10cm以上になると出動します。また、降雪状況によっては、早朝だけでなく日中も除雪機械が出動します。

スムーズな除雪を行うためにも、町民のみなさんのご理解とご協力をよろしく願います。



↑注意ください

① 除雪車に近づかない

作業中の除雪車に近づくと大変危険です。車を運転する際は、車間距離を十分にとってください。歩行者の方

は、除雪車から距離を置いて歩行し、近づかないようにしてください。

② 雪を道路に捨てない

屋根から下ろした雪や宅地内にある雪は、道路（消雪道路）、歩道に出さないようにしてください。道路が狭くなるばかりでなく、路面に凹凸ができ、歩行者（特に通学中の児童、生徒）や車の交通の妨げの原因になり、大変危険です。各自治会内で注意を呼び掛け合うなど、ご協力をお願いします。

③ 路上駐車、夜間駐車は絶対しない

路上駐車は道路除雪や通行の妨げになります。特に、夜の路上駐車は、除雪作業の遅れや除雪ができなくなる原因になりますので、絶対にしないでください。

↑ご協力ください

① 作業時間が前後します

早朝除雪は、午前7時30分終了を目処に委託しています。除雪作業は、なるべく早い時間帯におこなうように努めますが、降雪時間や積雪状況、除雪ルートによって時間差が出ますので、ご了承願います。

② 田畑は砂利の対策を

除雪作業により、田畑に砂利が入る場合があります。ブルーシートを敷くなどの対応をお願いします。

③ 空き地を利用させてください

集落内の除雪は、雪捨て場が必要となります。空き地を利用させていただきますので、ご協

力をお願いします。

④ 防火施設やごみ収集所の除雪

消火栓や防火水槽、カーブミラー、ごみ収集所などの施設の除雪は、みなさんのご協力をお願いします。

⑤ 工作物の破損は連絡を

除雪作業で工作物が破損した場合は、町地域整備課建設管理グループまでご連絡ください。

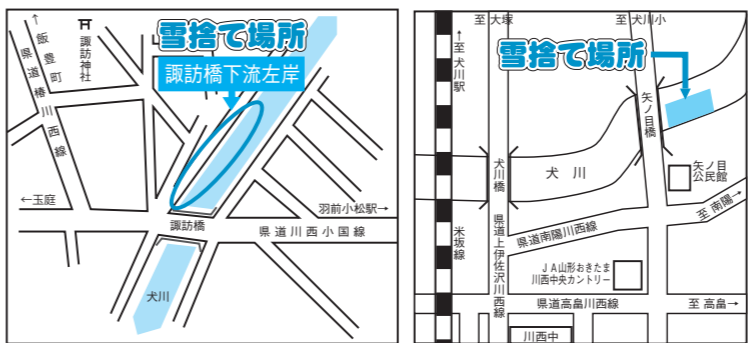
今年度の雪捨て場です

今年度の雪捨て場は、昨年度同様に「矢ノ目橋」下流右岸と「諏訪橋」下流左岸の計2箇所です。

★排雪時間は、午前8時から午後5時までです。

《注意事項》

- ・雪捨て場内の事故については、責任を負いません。
- ・「諏訪橋」下流左岸については、ダンプ2tまでとします。また大型車での雪捨てを禁止します。
- ・雪以外の土砂及びゴミ等の搬入は禁止します。



町地域整備課建設管理グループ（道路管理チーム） ☎42-6647

みなさんの除雪・排雪作業を支援

自力での除雪が困難な世帯などへのボランティアでの除雪作業や、自治会などで集落内にたまった雪の排雪作業などを行った場合に、町から一定の補助金を交付します。



▼対象団体

- ① ボランティア団体
町民が主となり組織し共同活動を行う団体
- ② コミュニティ団体
地区協議会、大字単位の組織、単数又は複数の自治組織など

▼対象事業

- ① ボランティア除雪
自力での除雪が困難な世帯などで、自主的に行った雪下ろし作業など
- ② 地域一斉排雪
集落内にたまった雪や、集落内で定めた雪押し場の排雪

▼補助金申請

申請団体の代表者は、「事業計画書」「収支予算書」「事業参加者名簿」を添付して、町に補助金の交付申請書を提出してください。

▼補助金額

- ① ボランティア除雪の受益者
 - 30戸以上 7万円
 - 20戸以上30戸未満 20万円
 - 10戸以上20戸未満 10万円
 - 5戸以上10戸未満 5万円
- ② 地域一斉排雪の受益者又は実参加者
 - 5戸以上 5万円
 - 10戸以上20戸未満 10万円
 - 5戸以上10戸未満 5万円
 - 5戸未満 2万円

※補助金の交付は、1箇所につき1回のみ。

※補助金の申請書類は、左記

及び各地区交流センターに準備しています。また町のホームページからもダウンロードできます。

町まちづくり課 地域振興グループ ☎42-6613

高齢者住宅などの雪下ろしを支援

自力で除雪をすることができない高齢者や心身障がい者の世帯のみなさんへ、除雪援助員を派遣するとともに、費用の一部を助成します。



▲協力して除雪を

▼対象となる世帯

- ① 65歳以上の高齢者のみ
- ② 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳をお持ちの障がい者のみ

▼交付要件

① 自力で除雪ができず、親族や近隣の方の援助も受けられない状況であること。

② 世帯全員が平成30年度町民税非課税であること。

③ 生活保護世帯は対象外。

※入院・施設入所により不在

▼助成額

1世帯当たり3万円まで（玉庭、東沢地区のみ4万5000円まで）

▼申込方法

地区担当民生委員とおして、担当課に申請書を提出してください。

町健康福祉課 福祉グループ ☎42-6635

生活道路の除雪作業を支援



▼対象事業

自治会が生活道路の確保のために、自治会住民に委託する機械除雪作業のうち、次の要件をすべて満たすもの。

(1) 自治会が住民に除雪を依頼したもの

(2) 延長30m以上、道路幅員2.5m以上であり、沿線に概ね3戸以上の住居等の要件に当てはまる路線であること。（詳細はお問い合わせください）

(3) 雪の深さが10cm以上であること。

▼対象者

町内自治会

▼補助金額

除雪単価に作業時間（10分単位）を乗じた額（出動の準備時間と待機時間は対象外）

▼申込方法

自治会をとおして担当課に申請書を提出してください。

町地域整備課 建設管理グループ ☎42-6647

11月は「ねんきん2月間」

公的年金は、やがて迎える老後や、万が一けがや病気で障がいが残ったとき、一家の働き手が亡くなったときに年金を受給できるよう、保険料を出し合ってお互いを支え合う制度です。

日本年金機構では、11月を「ねんきん月間」、11月30日を「年金の日」と位置づけ、公的年金制度の普及・啓発活動を行っています。

これを機会にご自分の年金記録や将来の年金受給見込み額を確認し、老後の生活設計について考えてみませんか？



国民年金に加入する方

日本国内に住む20歳以上60歳未満のすべての人は、国民年金に加入することが法律で義務付けられています。

国民年金の加入者のことを「被保険者」といい、職業や保険料の納める方法により左表の3つの種別に分かれています。

第1号被保険者

20歳以上60歳未満で自営業、農林業、学生の人など



自分で保険料を納めます

第2号被保険者

厚生年金に加入している会社員、公務員など



事業所などをおして保険料を納めます

第3号被保険者

20歳以上60歳未満で第2号被保険者に扶養されている配偶者



自分で納める必要はありません

保険料は忘れずに納めましょう

■平成30年度保険料月額 16340円

納付期限は納付対象月の翌月末です。納付期限を経過した場合でも、期限から2年間は納付書で保険料を納めることができます。ただし、期限までに納めるか、免除などの申請手続きをせずに未納期間

となる場合、障がいが残ったときや一家の働き手がなくなったときに年金が受給できない場合がありますので、ご注意ください。

納付方法は、口座振替・納付書・クレジットカードによる支払いの3つです。口座振替・クレジットカードによる支払いには別途申し込みが必要ですので、詳しくはお問い合わせください。

納付方法は、口座振替・納付書・クレジットカードによる支払いの3つです。口座振替・クレジットカードによる支払いには別途申し込みが必要ですので、詳しくはお問い合わせください。

納付方法	定額保険料 (16,340×納付月)	現金払 ・クレジットカード	口座振替
1か月分 翌月支払	16,340円	16,340円	16,340円
1か月分 当月支払			16,290円 (△50円)
6か月分	98,040円	97,240円 (△800円)	96,930円 (△1,110円)
1年分	196,080円	192,600円 (△3,480円)	191,970円 (△4,110円)
2年分	393,000円※	378,580円 (△14,420円)	377,350円 (△15,650円)

() 内は割引額

※納付の方法や申込期限など、詳しくはお問い合わせください。
 ※H30: 16,340円×12か月 = 196,080円
 H31: 16,410円×12か月 = 196,920円で算出しています。

お得な前納・早割制度

その年度からの一定期間の保険料を前納(前払い)すると、保険料が割引されます。

割引額は、前納の期間により変わります。納付書でも前納できますが、口座振替はさらにお得です。

保険料を納めるのが難しい場合



免除制度や納付猶予制度があります。免除・猶予を受けるためには対象となる方の所得が一定の金額以下である必要があり、申請ができる期間は申請した日からさかのぼって2年1か月前までです。期間を過ぎると申請できなくなり未納期間となってしまいますので、お早めにご相談ください。

社会保険料控除

納付した国民年金保険料は、年末調整や確定申告のときに申告すれば、全額が「社会保険料控除」として所得控除の対象となります。

毎年11月上旬に社会保険控除証明書が日本年金機構から送付されますので、年末調整や確定申告の際には必ずこの証明書(又は領収証書)を添付してください。

こんなときは お手続きが必要です

被保険者区分	変更理由	届け出先
第1号被保険者 自営業、学生、無職の方など	20歳になったとき	町住民生活課
	就職して厚生年金に加入したとき	勤務先
	配偶者(第2号被保険者)の扶養になったとき	配偶者の勤務先
第2号被保険者 会社員、公務員など	退職したとき	町住民生活課
	退職して配偶者(第2号被保険者)の扶養になったとき	配偶者の勤務先
第3号被保険者 第2号被保険者の扶養になっている配偶者	配偶者が65歳になったとき、配偶者が退職したとき	町住民生活課
	配偶者の扶養から外れたとき、離婚したとき	勤務先
	就職して厚生年金に加入したとき	勤務先
	配偶者の勤務先が変わったとき	配偶者の勤務先

ねんきんネットのご案内

インターネットを利用して、ご自身の年金の情報を手軽に確認できるサービスです。年金記録を確認、将来の年金受給見込額の試算、日本年金機構からのお知らせを確認することが出来ます。

詳しくは **ねんきんネット** で検索！

受給する年金額を増やしたいときは

国民年金基金に加入していない第1号被保険者は、定額の保険料を納付する際に、あわせて付加保険料(月額400円)を納めると、老齢基礎年金に「付加年金」が上乘せして受給できます。



付加年金額
200円×
付加保険料納付月数
が毎年支給されます。

受けられる年金は？

●65歳になったとき

【老齢基礎年金】
国民年金保険料を10年以上(免除期間含)納めた人が、65歳から生涯受けられる年金です。繰上げ支給や繰下げ支給により、65歳になる前や66歳以降に受け取ることもできます。



※平成30年4月現在

老齢基礎年金額(年額)
77万9,300円
(40年間すべて納めた場合)

●病气やけがで障害が残ったとき

【障害基礎年金】
けがや病気で、障害等級の1級・2級のいずれかに該当する場合に支給されます。 ※すでに老齢基礎年金の受給権者である人は障害基礎年金を受給できません。



※平成30年4月現在

障害基礎年金額(年額)
*1級障害 97万4,125円
*2級障害 77万9,300円

●一家の働き手が亡くなったとき

【遺族基礎年金】
国民年金の加入者などが亡くなったときにその人によって生計を維持されていた「子」のある配偶者「または「子」」に支給されます。

※平成30年4月現在

遺族基礎年金額(年額)
*子(1人)のある配偶者が受ける場合
100万3,600円
*子(1人)が受ける場合
77万9,300円



日本年金機構 米沢年金事務所 ☎22-42220
町住民生活課 戸籍住民グループ ☎42-16615

10月30日(火)、認知症予防と終活について理解を深めるための講演会が行われ、約100名の町民が参加しました。

第1部では、社会医療法人公徳会佐藤病院の精神保健指定医である岩本康夫氏から認知症予防に関する講演があり、規則正しい生活を送ることの重要性についてお話しいただきました。

第2部では、千眼寺(米沢市)住職の鈴木一志氏から、幸せな卒業をするための終活について講演がありました。

最期まで自分らしくいるためには、「素直な気持ちを持つこと」「うまくいかないことや失敗があっても自分を責めないで、毎日自分を褒めること」が大切であるとお話しいただきました。



▲千眼寺住職 鈴木一志氏



▲約100人が聴講した

☎ 申込先 川西町商工会
46-12020



▼講師：アルト経営パートナー(株)代表取締役 中小企業診断士 加藤敦子氏
▼申込：11月21日(水) ※先着10名、受講料無料

かわにし創業セミナーを開催します

創業前に知っておくべき基礎を、2回のセミナーでわかりやすく解説します。お気軽にご参加ください！

- ▼日時
 - ①12月5日(水) 午後1時30分～4時30分
 - ②12月19日(水) 午後1時30分～4時30分
- ▼場所：町商工会館
- ▼対象：創業に興味のある方、創業後間もない方(概ね3年以内)など

平成30年度明るい選挙啓発ポスター2次審査(県審査)で特選!

(公財)明るい選挙推進協会主催「明るい選挙啓発ポスター」の第2次審査(県審査)において、本町から出品した作品のうち2点が特選、1点が入選に選ばれました。

このポスターは「選挙が明るく正しく行われるために、全国の児童生徒のみなさんに明るい選挙を呼び掛けてもらうこと」を目的に実施しているもので、市町村の1次審査、都道府県の2次審査で特選作品に選ばれると、3次審査(中央審査)に進むこととなります。

第2次審査の結果

【団体の部(奨励賞)】

- ▼吉島小学校
- ▼川西中学校

※受賞した3校中2校が本町の1次審査では、小学生の部21作品、中学生の部91作品の中から30作品を入選作品とさせていただきます。

【個人の部(小学校の部)】

- ▼特選：高橋胡羽さん(吉島小学校4年)
- ▼入選：遠藤夢果さん(吉島小学校4年)

【個人の部(中学校の部)】

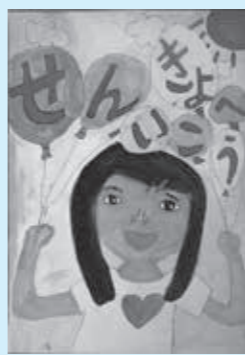
- ▼特選：齊藤史奈さん(川西中学校1年)



町での1次審査では、小学生の部21作品、中学生の部91作品の中から30作品を入選作品とさせていただきます。

応募いただいたみなさん、素敵なポスターを本当にありがとうございました。

☎ 町選挙管理委員会事務局
42-6689



特選：高橋胡羽さん(吉島小学校4年)



特選：齊藤史奈さん(川西中学校1年)



入選：遠藤夢果さん(吉島小学校4年)

町長とのふれあいトークを開催中

「まちづくりへの提言をお聴かせください」



▲昨年度のふれあいトークの様子

広く町民のみなさんとの意見交換を通して、協働のまちづくりを推進するための広聴事業として町長とのふれあいトークを開催します。

若者が力を発揮できる環境づくりや地域課題、移住定住のまちづくりを一緒に考えましょう。

☎ 町まちづくり課 情報統計グループ
42-6668

期日	曜日	時間	会場
11月15日	木	午後7時～8時30分	中郡地区交流センター
11月16日	金	午後7時～8時30分	町中央公民館
11月17日	土	午後1時30分～3時	大塚地区交流センター
11月20日	火	午後7時～8時30分	玉庭地区交流センター
11月21日	水	午後7時～8時30分	吉島地区交流センター
11月27日	火	午後7時～8時30分	東沢活性化センター
12月13日	木	午後7時～8時30分	犬川地区交流センター

農業生産工程管理(GAP)研修会

町では農産物(食品)の安全を確保し、産地の信頼性を高めるため、農業生産工程管理(GAP)の認証取得を支援しています。

- ▼このたび研修会を開催しますので、ぜひご参加ください。
- ▼日時：12月5日(水) 午後3時～5時
- ▼会場：JA山形おきたま 川西支店 2階会議室
- ▼内容：国際水準GAPと東京オリンピック・パラリン

ピックを契機とした産地競争力強化

▼対象者：GAP認証取得に興味がある方

▼参加申込：11月28日(水)まで左記担当あて電話・FAXにて申込ください。

※定員(60名)に達し次第、メ切とさせていただきます。

☎ 町産業振興課 農業グループ
42-6641
FAX：42-2600

町営・県営住宅入居者を募集

【町営館之北住宅】

- ▼部屋数 8・6畳(1階)
- ▼戸数 1戸(一般用・单身可)
- ▼家賃 13900円～27300円

【県営館之北住宅】

- ▼部屋数 8・6・4.5畳(4階)
- ▼戸数 1戸
- ▼家賃 19300円～38000円

- ▼募集期間 11月26日(月)～30日(金)
- ▼選考 住宅困窮度判定基準による選考
- ▼入居時期 12月下旬
- ☎ 町地域整備課 建設管理グループ
42-6647

- ▼募集期間 12月3日(月)～7日(金)
- ▼優遇措置 優遇有
- ▼入居時期 2月上旬
- ☎ 株西王不動産置賜事務所
24-12332

米坂線フォトコンテスト作品募集

▼応募期間

平成31年1月31日(木)まで

▼結果発表：平成31年3月中旬に米坂線整備促進期成同盟会ホームページにて公表

▼入賞・商品

○「♡(いいね)」の数が最も多い者から3名様に現金1万円を贈呈

○置賜3市5町、新潟県内自治体(村上市、関川村、粟島浦村)が選んだ1万円相当の特産品を贈呈

※詳細は、米坂線整備促進期成同盟会ホームページをご覧ください。

☎ 町未来づくり課 政策調整グループ
42-6695

- 応募方法 ■
- ①Instagramを起動
 - ② [@yonesaka_domeikai] をフォロー
 - ③ [#米坂線フォトコンテスト2018] のハッシュタグをつけて写真をシェア
 - ④投稿完了!

やまがた 里の暮らし推進機構



第4回 山形かわにし豆の展示会 with 絵の展示会

～山形かわにしの採れたておいしい新豆や新米が、今年も上野に行きます～

今年で4回目となる豆の展示会を東京都台東区の複合施設「上野桜木あたり」をメイン会場に3日間開催します。豆の展示会をきっかけに川西町を知った、川西町に移住して来た、大手食品会社による紅大豆の商品開発につながったなど、様々な効果をもたらしています。昨年は、3日間延べ5600名もの方にお越しいただきました。「ばあちゃんの茶の間」お茶のみ体験、「じいちゃんの土間」しめ飾りづくり体験、新豆や新米、地酒販売、石うすきなこづくりやお料理教室など内容盛りだくさんです。川西町のあたたかい雰囲気をお住まいの方に案内ください。



山形かわにし豆の展示会 絵の展示会
会場：上野桜木あたり
日時：2018.11.30(金)-12.2(日)
会場時間：10:00-18:00

- 開催日時
11月30日(金) 午後1時～5時30分
12月1日(土) 午前9時～午後5時30分
12月2日(日) 午前9時～午後4時



☎やまがた里の暮らし推進機構
54-13006

身分証明書として便利!

マイナンバーカードを申請しましょう

役場の窓口で申請

役場窓口にあるマイナンバー専用端末でマイナンバーカードの申請が可能です。職員が申請のお手伝いをします。個人番号カード交付申請書を持参し窓口へお越しください。窓口が込み合っている場合には、お待ちいただくことがあります。時間に余裕を持ってお越しください。



▲役場窓口のパソコンから申請できます

スマートフォンから申請

個人番号カード交付申請書IDを使用して、お手持ちのスマートフォンやパソコンからの申請が可能です。必要事項を入力し、顔写真を添付して送付するだけでお手軽に申請ができます。



通知カードの申請書を使って申請

「スマートフォンやパソコンを使うのは苦手」という方は申請書に写真を貼って申請することも可能です。通知カード下側の個人番号カード交付申請書に写真を添付し、氏名などを記入のうえ、郵送で申請します。

申請書送付先
〒219-1873
日本郵便株式会社川崎東郵便局郵便私書箱第2号
地方公共団体情報システム機構個人番号カード交付申請書受付センター

マイナンバーカード 交付の注意点

個人番号カード交付申請書は、現在の住所・氏名・性別が記載されている最新のものが必要です。お持ちでない方はお問い合わせください。完成したカードは概ね1か月後に役場に届きます。カード交付準備ができましたら、その旨の通知をお送りしますので、届きましたらご本人が役場に取りにお越しください。



Jアラート全国一斉情報伝達訓練

緊急時に迅速かつ確実な情報伝達ができるよう、Jアラートによる全国一斉情報伝達訓練が実施されます。

- 訓練実施日時
11月21日(水) 午前11時
防災無線からの放送内容
Jアラートチャイム音
「これは、Jアラートのテストです。」
「こちらは、ぼうさいかわにしです。」



放送内容の再確認方法
防災行政無線から放送された内容は、「防災情報テレフォンスアービス」
☎42-4261
☎42-4262
☎42-4263
で確認できます。
☎町総務課 危機管理グループ
☎42-6612

県民手帳販売中!

- 県民手帳は、グレーとパールホワイト(数量限定)がありますので、ぜひお買い求めください。
県民手帳(600円)
農業日誌(1500円)
ファミリー日誌(1500円)
新農家暦(520円)
※お近くの統計調査員または左記にご連絡ください。伏見屋書店でも扱っています。
☎町まちづくり課 情報統計グループ
☎42-6668

空間放射線量 (測定場所: 川西中学校)

Table with 4 columns: 測定日, 地上からの高さ, グラウンド, 給食室付近側溝. Data for 10月5日 shows 100cm and 50cm measurements with 0.08 μSv/h.

路上で小動物の死骸を発見したら...

町では、路上で死んでいる小動物を、環境衛生や車両通行の支障となる点から回収を行っています。路上で小動物の死骸を発見したときは、町民生活課までご連絡ください。なお、その際はできるだけ次の内容をお知らせください。
◆発見した場所(所在番地、道路路線名、近くの目標物など)
◆動物の種類(犬・猫・タヌキ・カラスなど)
◆道路上のどこに死骸があるか(車道上・歩道・植え込み内・車線方向など)
※私有地や私道にある死骸は、土地の所有者もしくは使用者が処分してください。
※死骸が鳥類の場合は手を触れないでください。
※回収には時間をいただく場合があります。
☎町民生活課 生活環境グループ
☎42-6618

死亡したイノシシを発見したら...

岐阜県で今年9月に豚コレラが発生した際、野生イノシシ群に対する感染確認検査を実施したところ、死亡イノシシから豚コレラの陽性判定が出ています。町内でも年々イノシシの目撃が増えていきます。もし、死亡した野生イノシシを見かけたら、県で検査を行いますので、町農地林務課までご連絡ください。



☎町農地林務課 農村林務グループ
☎42-6646

1 1 月は児童虐待防止推進月間

平日のご連絡先
町健康福祉課 福祉グループ
☎42-6635
受付：午前8時30分～午後5時15分
土・日・祝日・夜間のご連絡先
町役場 宿日直受付
☎42-2111
児童相談所全国共通3桁ダイヤル
189 (いちはやく)
※連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます

虐待は、どの家庭にも誰にでも起りうる身近な問題です。
地域の方々のちよつとした「目くばり」「気づき」で子どもたちを虐待から救えます。
気になることがありましたら、迷わずご連絡ください。

未来へと命を繋ぐ 189 いちはやく
虐待が起きない、見過ごさない地域づくりを



子どもを健やかに育むために
愛のむちゼ口作戦

- しつけと称して叩いたり怒鳴ったりすることは、子どもの成長に悪影響を及ぼしてしまう可能性があります。
次のポイントを心がけながら、子どもに向き合いたしましょう。
▼子育てに体罰や暴言を使わない
▼子どもが親に恐怖心を持つとSOSを伝えられない
▼爆発寸前のイライラをクールダウン
▼親自身がSOSを出そう
▼子どもの気持ちと行動を分けて考え、育ちを応援

里親家庭を募集しています

里親とは、さまざまな事情により家庭で暮らせなくなったお子さんを一定の期間、自分の家庭に迎え入れて、温かい愛情と理解を持って養育して下さる方をいいます。
制度の内容など詳細は左記までお問い合わせください。
町健康福祉課 福祉グループ
☎023-627-1195

これからの季節は水道の漏水や凍結にご注意ください！



水道メーターの文字盤にあるパイロット(銀色の円盤)が回るか確認してください。
▼回らない…漏水なし
▼回る…漏水の危険性があります。
※冬期間は、メーター検針を行いますので、使用者の方が定期的に確認してください。



漏水や凍結を防ぐには?
①冬期間使用しない水栓(屋外の蛇口)や、不在になる期間が多い施設(公民館など)、数日間留守にする場合
②凍結防止に保温材や凍結防止ヒーターを使用してください。
③屋外の蛇口や立ち上り管は、囲いなどの防護で積雪による破損を防いでください。
④冬期間使用しない設備(空き家や作業小屋など)は、担当課に使用中止の手続きを行ってください。
⑤蛇口から出る水の勢いの低下、ボイラーの燃料消費量増加、雪が溶けている場所があるなどがあった際は水道メーターを確認してください。

障がい者福祉制度研修会を開催

町の障がい者福祉制度を学ぶ研修会を開催します。関係者の方、興味のある方はぜひご参加ください。
▼日時 11月28日(水) 午後1時30分～3時
▼場所 町生きがい交流館
▼対象者 障がい者・障がい者の家族のほか関心のある方
▼その他 研修会終了後、相談コーナーを設けます
▼主催 町健康福祉課 町身体障害者福祉協議会



町健康福祉課 福祉グループ
☎42-6635

わが町のたからものシリーズ⑧

吉田晩稼筆「欣然愛人」扁額



この書は、愛知大学創立者・本間喜一の生家である玉庭の小池家に伝わるもので、明治21(1888)年に玉庭に滞在した書家・吉田晩稼が、初代村長を務めた本間の父・小池熊吉に贈ったものです。晩稼は戊辰戦争において山縣有朋の秘書として重用された人物で、後年書家に転じ、靖国神社の石標や警視庁など官庁の門標、習字の教本なども手掛けています。
「欣然愛人」とは、「喜んで快く人を愛する」という意味で、中国戦国時代の法
戦後日本の将来を担う、国際社会で活躍し地域に貢献する人材や、農業指導者の育成のために愛知大学を創立し、常に学生や教職員のことを第一に考え行動した本間。その根底には、幼い頃から身にしみてきた「欣然愛人」の教えがあったことが想像できます。その精神は「本間イズム」として、今日も同大学に脈々と受け継がれています。知を愛し、人を愛した教育者・本間喜一の生き様とその原点を伝える書です。

検診日程を追加

今年度ラストチャンス



町の検診日程を次のとおり追加します。各種検診をまだ受けてない方はこの機会にお申し込みください。
▼場所 南陽検診センター
▼持ち物 検診票、検診料金、健康保険証
※無料クーポン券(お持ちの方のみ)
▼申込方法 下記問合せ先にお早めに申し込みください。
※子宮頸がん検診・乳がん検診は、来年1月31日まで個別医療機関でも受診できます。医療機関に直接予約のうえ、お受けください。
町健康福祉課 健康推進グループ
☎42-6640

Table with columns for '検診項目' (Examination Item), '期日・定員・受付時間' (Date, Capacity, Reception Time). Rows include ①総合健診, ②国保人間ドック, ③子宮頸がん検診・乳がん検診.



ご存知ですか？「成年後見制度」

「言葉は知っていても、いったいどのような制度なのか…」
今回は、成年後見制度に対する、みなさんの疑問にお答えします。

Q 「成年後見制度」って何ですか？

A 認知症、知的障がい、精神障がいなどで、自分で判断することが難しい人を援助してくれる制度です。その方が自分一人で判断できないこと（不動産や預貯金などの財産管理や契約など）を安全に行えるようになります。

Q 相談はどこにするのですか？

A 家庭裁判所、町社会福祉協議会、法テラス、弁護士会、司法書士会、町健康福祉課などに相談してください。

Q 誰が成年後見の申立てをするのですか？

A 本人、配偶者、四親等内の親族、市町村長などに限られています。

地域包括支援センターだより

地域包括支援センターだより



Q 成年後見人はどのようなことをするのですか？

A 本人の財産を管理したり、契約などの法律行為を本人に代わって行います。ただし、スーパーなどでの日用品の買い物や実際の介護は一般に成年後見人の職務ではありません。

Q 手続きの期間と費用はどのくらいかかりますか？

A 一般的に、期間は2か月です。費用は切手・印紙代で5千円から1万円です。ただし、鑑定が必要な場合や申立てを弁護士や司法書士に依頼すると別に費用がかかります。

町健康福祉課 介護支援グループ内 町地域包括支援センター ☎42-6638

玄米ダンベルニギニギ体操 一緒にやってみませんか？

1つ約300gの玄米が入ったダンベルを使った15分程度の誰でも無理なくできる運動です。継続することで体内代謝や筋肉の質が変わり、スタミナがつくと言われています。

講習を受講されたボランティアによる「健康運動サポーター」の指導のもと、楽しくワイワイ体操をします。

冬は家に閉じこもりがちになりますが、運動不足解消や健康づくりに関心のある方はぜひお気軽にご参加ください。

開催日時

期 日	時 間
12月12日(水)	午前10時～11時
平成31年 1月24日(木)	午後1時30分～2時30分
2月20日(水)	午前10時～11時
3月 5日(火)	午後1時30分～2時30分

※開始時間20分前に開場

※猛吹雪など悪天候の場合は中止となる場合があります。



- 場 所 町生きがい交流館
- 内 容 町保健師による健康講話
玄米ダンベルニギニギ体操
- 持ち物 内ズック、飲み物、
玄米ダンベル（お持ちの方）

■ 申込方法
開催日の3日前までに下記までお電話でお申し込みください。（先着30名）
※当日飛び込み参加も大歓迎です。

- その他 健幸マイレージ10ポイント贈呈

町健康福祉課 健康推進グループ
☎42-6640



お子さんの健診など

〈項目〉	〈期日・対象者〉
すくすく赤ちゃん健康診査	期日：12月21日(金) 対象：H30.7.16～9.15生まれ
3歳6か月児健康診査	期日：12月14日(金) 対象：H27.5.16～6.30生まれ

〈受付時間〉午後1時15分～1時30分
〈会 場〉町生きがい交流館

ぴかぴか歯っぴい教室

〈期 日〉12月20日(木)
〈場 所〉町生きがい交流館

〈対象者〉	〈受付時間〉
平成28年12月生まれの幼児	13:20～13:30
平成27年12月、平成28年6月 平成29年10月生まれの幼児ほか	13:30～14:00
妊婦・夫	13:50～14:00

こあらっこ広場

〈日 時〉12月13日(木)
午後1時30分～2時30分
〈場 所〉町子育て支援センター
〈対 象〉妊婦さん、1歳未満のお子さんとママ
〈内 容〉交流や情報交換の場です。体重測定や相談もできます。
〈申 込〉不要です。お気軽にお越しください。

健幸マイレージ協力店が増えました

- ◆協力店名 (有) 亥子屋商店 ひなた cafe (中小松2862)
- ◆特典内容 粗品進呈（なくなり次第終了）
- ◆店長より一言 地元食材を使用したピザ、パスタのランチは大変好評です。ピザ生地は米粉を使ってもちもちの食感。パスタは淡路、さぬきから取り寄せた生パスタ、こちらももちもちです。米粉のスフレパンケーキは県内でも唯一のふわふわ食感です。
※「健幸マイレージ」の詳細は、町ホームページをご覧ください。



町健康福祉課 健康推進グループ
☎42-6640

パークゴルフ場ぐるりウォーク+10

健康づくりのため、現在より10分多く身体を動かそう！
日 時：12月3日(月) 午前7時～8時
場 所：川西グリアパークゴルフ場
内 容：パークゴルフ場の外周1kmウォーキング体操
参加費：無料 ※11月29日(木)まで要申込
その他：健幸マイレージ10ポイント贈呈！

適正受診を心がけましょう ★今月のポイント★

風邪などの日常的な病気のとときにはかかりつけ医を受診し、高度な治療や精密検査が必要な場合は、かかりつけ医に適切な病院を紹介してもらい、受診しましょう。かかりつけ医の診療情報を持参すると、スムーズに受診することができます。

子育て支援医療証を郵送します

- 今月の対象者
年 齢：1歳児～小学6年生
誕生日：11月2日～12月1日
- 発送日 11月22日(木)



町健康福祉課 健康推進グループ ☎42-2114

子育て支援センター「こあらっこだより」

- 11月19日(日) 12月17日(日) 申込・町教育総務課 ☎42-6671
- *幼児こたばの相談室 午前9時～(完全予約制)
- *立幼施設開放日 午前10時～11時
- *ルンロン子育て広場 午前9時30分～11時30分
- 11月22日(木) 木の美で作る簡単おもちゃ・身体測定
- 12月6日(土) 新聞紙で遊ぼう
- 北斗幼稚園 12月12日(土)
- 玉庭保育所 11月27日(土) 美郷幼稚園 12月4日(土)
- 町子育て支援センター「こあら」 ☎44-2822

くらしの情報掲示板

募集

ときめきねりんピック
出品作品募集

▼募集部門：日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真
※各部門の規程など詳細はお問い合わせください。

▼応募資格：県内在住で、昭和35年4月1日以前に生まれたアマチュアの方

▼出品料：2千円

▼募集期限
平成31年1月7日(月)

※公募予定点数を超えた場合募集期限前に締め切ることがあります。

▼作品の搬入
平成31年2月12日(火)

※事務局より案内があります。

▼展示会場
山形美術館（山形市）

▼展示期間
来年2月14日(木)～17日(日)
午前10時～午後5時
(最終日は午後3時まで)

◎山形県健康福祉祭美術展事務局（県社会福祉協議会）
023-622-5805

催し

やまがたの森づくり
発表会

▼日時：11月25日(日)

午前11時30分～午後4時

▼会場：山形ビッグウイング（山形市）

▼内容：講演、やまがた緑環境税を活用した森づくり活動発表、木育体験など

◎置賜総合支庁森林整備課
森づくり推進室
035-9053

置賜農業高校PTA
研修部講演会

一般の方も参加できますので、お申し込みください。

▼日時：12月2日(日)

午後1時30分～3時

▼会場：置賜農業高校会議室

▼演題：甲子園農場に花が咲いた！～金足農業高校野球部の大活躍は、こうして生まれた～

▼講師：秋田県立金足農業高校野球部元監督 嶋崎久美氏

◎置賜農業高校
042-2101

講演で学ぶ
「老いの準備」

▼日時：12月1日(土)

午後2時～4時

▼会場：伝国の杜大会議室（米沢市）

▼内容：成年後見制度と遺言に関する講演

▼その他：参加無料、申込不要

◎法テラス山形
050-3383-5544

お知らせ

年末時期の
し尿汲み取り

年末のし尿汲み取りは毎年大変込み合いますので、年内の汲み取りを希望される方は12月14日(金)までに申込みください。これ以降の申込みは年明けの汲み取りとなる場合があります。

また、汲取手数料が未納の場合には申込みができませんので、期限内の納付をお願いします。

◎南陽クリーンセンターし尿汲み取り申込所
040-2612

※受付：平日午前8時30分～午後5時

町民税申告相談
会場を変更します

これまでの申告相談は各地区交流センターなどで開催していましたが、平成31年2月実施の相談からは、全地区とも町農村環境改善センター（町民総合体育館東側）1か所で行います。なお、詳しい日程などは平成31年1月号町報でお知らせします。

◎町税務会計課町税グループ
042-6622

青色申告決算説明会

青色申告者を対象に決算説明会を開催します。また、併せて消費税の軽減税率等の説明会を開催します。

▼営業所得・不動産所得
0日時：12月5日(水)

午後2時～4時

◎会場：町商工会館

▼農業所得
0日時：12月6日(木)

午後2時～4時

◎会場：伝国の杜置賜文化ホール（米沢市）

▼説明内容：青色申告の決算の仕方、消費税及び消費の軽減税率制度など

▼持ち物：筆記用具（資料は当日会場配布します）
◎米沢税務署個人課税第一部門
022-6320

ご存知ですか？
「筆界特定制度」

「筆界特定制度」は、土地の筆界（境界）トラブルを解決するため、法務局が現地における筆界の位置を特定する制度です。

隣接地との筆界が分からず困っている方、筆界について隣の所有者と意見が一致せず困っている方は、筆界特定制度をご利用ください。

◎山形地方法務局登記部門
023-625-11358

認知症市民フォーラム

▼日時：12月2日(日)

午前10時～正午

▼場所
南陽市役所4階大会議室

▼内容

◎第一部：(株)ネサンスによる認知症予防体操・シナプソロジー
◎第二部
講演：認知症と自動車運転
講師：(医) 公徳会佐藤病院 副院長 文鐘玉氏

住まいの無料法律相談

▼日時：12月20日(木)

午後1時30分～

▼会場：置賜総合支庁5階

▼人数：先着3名（1人40分）

▼申込：左記まで事前に申込みください。

◎(株)西王不動産置賜事務所
024-23332

働き方改革関連法
説明会

▼日時
①11月27日(火)

午後1時30分～4時30分

②平成31年1月31日(木)

午後1時30分～4時30分

▼会場：伝国の杜置賜文化ホール（米沢市）

▼定員：両日120名(先着順)

▼内容：関連法の詳細説明、中小企業向け支援策説明、個別相談会

◎山形労働局雇用環境・均等室
023-624-8228

相談

特設人権相談所を
開設します

毎年12月4日～10日は人権週間です。この期間中、米沢人権擁護委員協議会では「人権なんでも相談所」を開設し、家庭内や学校、近隣トラブルなど人権問題に関する相談をお受けします。



12月 無料相談

内容	日時	場所	予約・問合せ先
健康相談 (こころ・ひまこもりの相談含む)	12月10日(月)・25日(火) 午前8時30分～午後5時15分	町健康福祉課	町健康福祉課 ☎42-6640
弁護士 消費生活相談	12月12日(水) 午後2時～4時	町役場会議室 ※要事前予約	町住民生活課 ☎42-6616
行政相談	12月19日(水) 午後1時30分～4時	健康福祉センター (旧町立病院2F)	町住民生活課 ☎42-6616
心配ごと相談	毎週水曜日 午後1時30分～4時	健康福祉センター (旧町立病院2F)	川西町社会福祉協議会 ☎46-3040
多重債務相談	毎週火曜日 午後6時～8時	山形さくらんぼの会 事務所(山形市)	山形さくらんぼの会 ☎023-633-9353



11・12月 水道修理当番

080-6008-8330
080-6008-5331
修理当番直通電話

町水道工事業者では、水道の故障、漏水などの際、当番制で修理をお受けします。上記番号で直接当番につながります。なお、調査費や修理費等については実費負担となります。

期間	当番店(社)	電話番号
11月12日～18日	(株)藤島建設 (株)藤倉設備	☎42-3166 ☎42-3366
11月19日～25日	(株)佐々木建設 (株)黒澤技建	☎42-4171 ☎42-6351
11月26日～12月2日	(有)米野建設 サイトウ電気設備工業(株)	☎42-2392 ☎42-4111
12月3日～9日	(株)殖産工務所 齋藤設備	☎42-3500 ☎42-2480
12月10日～16日	スガイ住設 (株)藤島建設 (株)藤倉設備	☎42-3987 ☎42-3166 ☎42-3366



ちまるデザイン室

川西町地域おこし協力隊
電話：0238-42-6694
メール：chimaru@ms5.omn.ne.jp

移住してきてから3シーズンの栽培を行いました。その間に栗大豆の栽培をしました。栗大豆は日本一甘い相模原の大豆で、栗のような食感の枝豆ができます。もっと食味や色をよくするにはどうしたらいいか考え中です。大豆にするととても甘くて美味しいきな粉をつくるができます。



松山 薫

第80回 移住3年目の農業

また、アスパラの圃場を使わせていただいて実証研修をすることができました。これでダリアの栽培に必要な資材などを購入することができました。多くの方のアドバイスや協力があったが無事に3年目の秋を迎えることができました。ありがとうございました。



▲ダリア栽培の様子 きれいに咲くように努力しました



町民表彰式典において町発展へご貢献いただいた7名の皆さんに表彰状が授与されました。それぞれの立場でのご尽力に対し敬意と感謝を申し上げ、今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。各地区収穫祭が趣向を凝らしにぎやかに開催されました。しかし、収穫期になり今年の異常気象による農作物への影響がはつきり出てきました。米は細米が多く2割の減収だと訴える方もおり、米価が上がっても厳しい秋となりました。今年から米政策が大きく変わり、農家所得への影響を心配しています。

若者に希望を



町長 原田 俊二

町長室から

さて、高校・大学の受験シーズンが始まりました。来年度から玉庭出身の本間喜一先生が創設された愛知大学進学学生への奨学金制度がスタートします。愛知県豊橋市在住の越知専さんから5千万円が町に寄付され、愛知大学と町がさらに発展するよう奨学金制度を創設してほしいと希望されたものです。申し入れをいただいた時は、あまりに多額でびっくりしましたが、越知さんの思いを尊重し議会の議決を経て条例を制定し、実施するものです。今月初めに愛知大学を置農柴崎校長先生と訪問し、関係を深めるとともに、制度の確認をして来ました。来年度は推薦制度まで準備が整いまいせんでしたが、東北出身の愛知大学入学者で希望者から町が選考のうえ奨学金を支給します。本間先生が創設したとはいえ、愛知大学は東北にはあまりなじみのない大学です。愛知県にあるから愛知大学ではなく、「知を愛する」が名称の由来です。設立趣意書には、「地域に貢献する」「国際的視野を持つ」人材の育成が謳われ現在に引き継がれています。今回の制度は優秀な若者を支援するとともに、将来地域に帰り地域振興に寄与する人材の育成を目指すものです。愛大で学んだ成果が東北の振興発展につながるよう期待しています。当然、本町の学生には最優先で挑戦してほしいと願っています。ぜひお問い合わせください。

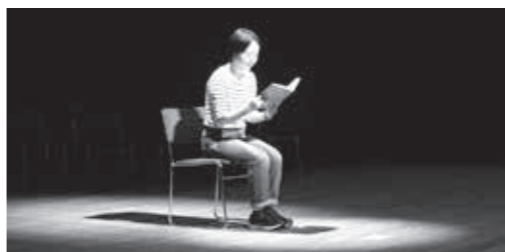
フレンドリープラザ 情報掲示板



チケット ☎ 46-3311 FAX 46-3313
申込・問合せ先 E-mail: friendlyplaza@gmail.com

各種公演の開場は30分前となります。

朗読倶楽部「星座」午後の朗読会



さまざまな作品を声に出して読み、表現することを目的に誕生した朗読倶楽部の旗揚げ公演です。クリスマスシーズンの午後の朗読会に、ぜひお越しください。

- 演目 「土神ときつね」作・宮澤賢治 「杜子春」作・芥川龍之介 他
- 日時 12月23日(日)祝 午後3時開演
- 会場 フレンドリープラザ (ロビー)
- 料金 500円

クリスマスおはなし会スペシャル!

人形劇団クスクスがやります！
他にもクリスマスカフェやクラフト体験、ボードゲームコーナーもあります。
親子で一緒に楽しいクリスマスを過ごしましょう！



- 演目 「ジャックとふしぎな豆のつる」
- 日時 12月9日(日) 午前10時～午後3時
人形劇は午前10時30分開演
- 会場 フレンドリープラザ (ロビー)
- 料金 無料

「イーハトーボの劇列車」予約受付中

- 日時 平成31年3月2日(土) 午後1時30分開演
- 会場 フレンドリープラザ (劇場)
- 前売料金 一般：5,500円 会員：5,000円 青少年席：2,000円 (24歳以下)

町立図書館・遅筆堂文庫

● 12月の休館日

開館時間	日	月	火	水	木	金	土
火曜日～土曜日 9:30～18:00 ※12月から閉館時間変更							1
日曜日・祝日 9:30～17:00 ■は休館日	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

● 読得ポイントカード今年も始めました

本を1冊借りるごとにスタンプを1つ押します。スタンプが10個たまると、浴浴センターまどかの入浴料割引など、お得なカードです。本を読んで得しちゃおう！

● おすすめ本のコーナー

クリスマスがやってくる！

こどもの本

『101ぴきのダルメシアン』

ドディ・スミス原作 ピーター・ベントリー文 スティーヴン・レントン絵 なかがわちひろ訳
ダルメシアンはボンゴとミセスは、飼主のデアリーさんとロンドンに住んでいました。ミセスはボンゴに言いました。「もうじき、わたしたちのこいぬがうまれるわ」そうして生まれた子犬は全部で15匹。みんなかわいい水玉模様です。そんなある日、子犬を譲ってほしいという、フルセラ・デ・ビルがやってきて…。ディズニー映画にもなった101ぴきわんちゃんを絵本でも。

おとなの本

『吉本ばななが友だちの悩みについてこたえる』

吉本ばなな著 朝日新聞出版刊

本の題名のとおり、吉本ばななさんが友だち関係で悩んでいる人達にアドバイスを贈る、お悩み相談エッセイです。客観的な視点と吉本さんの持論が展開される、気分がスッキリする一冊。読み終わった後、あなたも吉本さんに相談したくなるかも？！

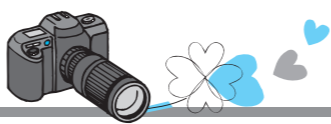
● 遅筆堂文庫読書会

12月2日(日) 午後2時～

「古本市」

【日時】12月8日(土)・9日(日)

【内容】読み終えた本をご提供いただき、欲しい方に無料で利用していただく市です。



▲仮装をした子どもたちで賑わいました

10/31

子どもたちが楽しんでハロウィン！

～町子育て支援センター「ルンルン子育て広場」～

10月31日(木)に町子育て支援センターで行われたハロウィンイベントでは、かぼちゃのお化けやキャラクターなど様々な仮装をした可愛らしいちびっ子たちが集まりました。ちびっ子たちはお買い物ごっこをして遊び、ハロウィンアイテムやお菓子を手にして喜んでいました。なお、この日は吉島小学校6年生19名も参加し、ちびっ子やその親御さんとの交流を通じた福祉学習に取り組みました。ちびっ子と小学生の楽しそうな笑い声がセンター中に溢れました。

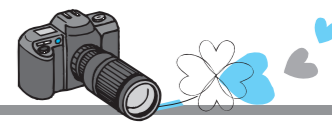


▲委嘱状と名刺を手にする佐藤裕一さん

10/19

各界で活躍し、本町を応援いただいている「川西町親善大使」をご紹介します

町ではこのたび、北海道在住でドラム・カホン奏者の佐藤裕一さんを新たに町親善大使に委嘱しました。佐藤さんはピアノトリオLateの一員として活躍し、町内でのコンサートや小中学校での音楽教室で演奏を披露いただいています。また、町の景観や食べ物に惚れ込み、全国各地でのコンサートで本町をイメージして作曲された「水径情歌～みずみちのうた～」を町の魅力とともに披露するなど、本町のイメージ向上に大きく貢献いただいています。



▲吉島地区交流センターで研修を受ける参加者たち



▲見頃を迎えた川西ダリア園を視察

10/23～25

全国の「川西」の絆を深める

～ネットかわにし若手職員体験型交流研修～

全国で「川西」という共通の地名を持つ兵庫県川西市・奈良県川西町・新潟県十日町市(旧川西町)・本町が、連携し交流していくことを目的とした全国川西会議(ネットかわにし)の若手職員研修が行われ、県外から6名の職員を迎えた計14名がスキルアップを図りました。この取り組みは、平成26年から実施し、本町開催は2回目、通算5回目の開催となります。

今回は、本町の地域づくりの事例紹介として吉島地区交流センターにおいて、高橋由和事務局長から講演をいただきました。また、地域の実践活動を知るためにフィールドワークを行い、各々の取り組みが地域住民と一体となつて行われていることを参加者は学んでいました。

参加された県外の職員からは「刺激を受けた」「フィールドワークで学んだことを今後の仕事に活かしたい」「山形県川西町は、子どもの頃から郷土愛を育んでいることに感動した」などの感想が寄せられました。この3日間の研修では、4市町各々の取り組みや風土の違いを知るとともに、全国の「川西」の絆を深めました。



▲多くの方が来園した「切り花ダリア収穫デー」

11/4

園内のダリアを花束に

～川西ダリア園が今シーズンの営業終了～

今シーズンの川西ダリア園の営業が11月4日(日)をもって終了しました。夏場の高温や少雨により開花が例年より遅れた今シーズンでしたが、関係者の尽力により秋には約650種のダリアが見事に咲き誇り、およそ5万人の方にご来園いただきました。最後の開園日に行われた「切り花ダリア収穫デー」では、朝もやが立ち込める中、ハサミとラッピングフィルムを手に大きさや形の異なるダリアを集めて、自分だけの花束をつくる多くの来園者でにぎわっていました。



▲町民謡研究会による「最上川舟唄」の披露 歌声を響かせた猪股崇さん(右)と尺八を演奏した横山昇さん(左)

11/23

文化の躍動今ここに

～町芸術文化祭を開催～



▲小中学校絵画展も行われ、11月3日(土)には黒澤梧郎賞受賞者への表彰式を挙行



▲白熱の新米ペットボトル早詰め大会

10/13

観て、体験して、味わうかわにしの魅力満載！

～かわにし産業フェア2018～

町内の農業や商工業、観光などの「産業」が集結したかわにし産業フェアが町中央公民館などで行われました。フェアでは、室内一面に敷き詰められた「ダリアアレンジメント展」、町内18社が出展した「企業展」、力作ぞろいの「絵画コンクール作品展」をその目で楽しむ方、「働く車展示・試乗」、木材でイスを手作りする「DIY体験」を夢中で楽しむ方などで溢れました。同日に開催されたたまげたほこ天&駅前プロレスも盛況で、産業フェアとあわせて約4千人が来場しました。



▲賞状を手に喜びを語った山本京子さん

10/9

山本京子さん(玉庭)が福井国体で優勝

～己道成年女子遠的～

福井しあわせ元気国体の弓道競技・成年女子遠的において山形県が初優勝を飾りました。3名で行う同競技のメンバーで、中心選手として活躍した本町玉庭在住の山本京子さんに優勝の喜びをご報告いただきました。60m先にある直径1mの的を狙う遠的で、山本さんは予選で4射全てを的に当て、チームの優勝に貢献しました。山本さんは「10数年がかりでやっと優勝できた」と喜びを表しました。また「家族の支えが今回の成績につながった」と感謝の思いを語りました。

おめでとう そして ありがとう

…10月受付分…

ようこそ赤ちゃん 3名

氏名	性別	保護者	大字
矢野 伊音	男	祥久・美和	洲 島
篠澤 勇生	男	友和・愛子	上小松
沖野 りく	男	秀弥・奈穂	大 舟

ご結婚おめでとう 3組

新郎	新婦	大字
槻木 真明	嶋貫 由果	西大塚
金子 洋生	名古屋 薫	大 塚
小倉 幸典	川崎さくら	下小松

ご冥福を祈ります

氏名	年齢(満)	大字
山口 義一	98	西大塚
小形みやえ	88	尾長島
遠藤 まさ	90	尾長島
遠藤 淑	92	玉 庭
安部マサエ	96	下小松
島貫与四郎	67	下小松
嵐田 和子	87	堀 金
竹田八重子	91	上小松
江口 正志	88	西大塚
大友 正次	91	玉 庭
神野 菊夫	71	朴 沢
清野 弘一	72	堀 金
船山よし子	70	中小松
高橋 久子	91	西大塚
石黒利喜男	84	上小松
梅津シゲ子	95	西大塚
伊藤 こう	94	高豆蔻
渡部としえ	94	西大塚
菊地 政子	81	洲 島
菊地 つる	96	高 山

【おめでとう そして ありがとう】は、10月に掲載の申し込みがあった方のみ掲載しています。氏名は、申込書のとおり掲載していますので、戸籍や住民基本台帳の表記と異なる場合があります。



晴れた秋、行方不明?・・・あっ みつけた。
○撮影：佐藤修一（高豆蔻）
○撮影場所：自宅前の田んぼ



ダリア園で変わったダリアが咲いていました。
○撮影：佐藤英俊（上小松）
○撮影場所：川西ダリア園



今月の撮っておき

あなたの「かわにし映え」する写真毎月3組募集中!

あなたが撮った、「町の風景・スポット・人」の写真で大募集。「氏名」「住所・電話番号」「写真の説明(20字前後)」を記入し、写真を添付してメールでご応募ください。応募写真は、ホームページ・フェイスブックでも掲載させていただきます。

▶次号募集期間：11月15日(木)～11月30日(金)

▶応募先：koho@town.kawanishi.yamagata.jp →

▶その他：詳細は町ホームページをご覧ください。

※応募者は、注意事項を承諾していただいたものとみなします。



11月の町税等

- 固定資産税・都市計画税 (4期)
 - 国民健康保険税 (5期)
 - 介護保険料 (5期)
 - 後期高齢者医療保険料 (5期)
 - 上下水道使用 (10月使用分)
- 口座振替日 11月28日(水)
納付期限 11月30日(金)

川西町の人口

15,228人 (-35)
男 7,476人 (-5)
女 7,752人 (-30)
世帯数 5,082世帯(±0)

※10月末日現在の住民基本台帳人口

「出張マルシェ」開催中!



そうだ! 森のマルシェに行こう!

森のマルシェでは、まだマルシェにお越しになつたことのない方々にも、マルシェを身近に感じていただきたい!と定期的に出張販売会を開催しています。町内外の産直イベントをはじめ、今年9月からは川西診療所での販売会も開催しています。新鮮な野菜や果樹、お菓子やお惣菜などを販売しておりますが、毎回多くの方々にご利用いただいております。森のマルシェでは、今後も店舗内の販売だけでなく、出張販売にも力を入れながら、町内産品そしてマルシェのPRに取り組んでいきます。

川西診療所での販売予定日時

毎月第2水曜日 午前10時～正午
次回は12月12日(水)
※開催予告は、診療所内掲示のポスターをご確認ください。

営業時間

午前9時30分～午後6時30分

お知らせ

11月の定休日…11月28日(水)

かわにし森のマルシェ

☎42-6664

▶森のマルシェ店内も収穫の秋真っ只中今年獲れたお米や野菜など、充実のラインナップでお待ちしています。ぜひご利用ください。





キャベツと干しえびのソテー

＊材料<4人分>
○キャベツ 1/2個 ○かつお節 8g
○干しえび 4g ○しょうゆ 小さじ2
○みりん 小さじ1 ○こしょう 少々
○オリーブオイル 小さじ2

＊作り方
①キャベツは長さ3cm程度の細切りにする。
②フライパンにオリーブオイルを入れ、キャベツを炒める。しんなりしてきたら、しょうゆとみりんを加えてさらに炒め、かつお節と干しえびを入れて火を止める。お好みでこしょうをふる。

(一人分当たり：エネルギー 64kcal 塩分相当量 0.6g 野菜 90g)

町健康福祉課 健康推進グループ ☎42-66640

よく噛んで食べていますか?



「ゆっくりよく噛んで食べましょう」
子どものころからよく聞く言葉ですが、あなたは出来ていますか?
噛むことで脳の満腹中枢が働いて食べ過ぎを防いだり、噛んで味わうことで食べ物の味がよく分かり、さらにおいしく食べられます。
素材のうま味が感じられると薄味でもおいしく食べられ、減塩にもつながります。

よく噛むために一工夫!

- 食材を大きく切る
- 硬めに調理する
- □に運んだら一度箸を置く



町報かわにし10月号裏表紙に記載した氏名のふりがなに誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
【誤】横山菜夏(ら)さん → 【正】横山菜夏(らな)さん



第34回県小学生陸上競技大会「走り幅跳び」出場
小松小学校6年生 高橋塁くん

ジュニアサッカーチームの川西JFCに所属し、DFとしてチームの守りを支えています。また、チームのキャプテンとして、メンバーをまとめています。勉強は、特に漢字を覚えるのが得意です。また、社会は特に歴史が好きで、名前を聞いたことがある武将が具体的にどんなことをしたのか楽しく学んでいます。

中学生になったら、サッカーにもっと打ち込みたいです。将来はプロサッカー選手になって、スペインでプレーするのが夢です。



第34回県小学生陸上競技大会「走り高跳び」第7位
小松小学校6年生 高橋陽奈さん

小学4年生からバスケットボールを始めて、スポーツでは持ち前の身長を活かし、センターとしてゴールを目指しています。児童会活動では美化委員長として校内が和やかになるよう、家にあるお花を持って来てもらえるよう全校生に協力してもらいました。勉強では、計算が早くできるので算数が得意です

中学生になったら、勉強では得意な算数をもっと極め、部活ではバスケットボールを続け、勉強と部活をうまく両立できるように頑張りたいです。



関東・東北から12名が来町し、紅葉の風景を描いた「スケッチ講座」。上野の森美術館（東京都）が主催。参加者は大塚・東沢の景色を絵の具や色鉛筆を使って、繊細なタッチで描き上げていました。

一眼レフカメラを手に町内をぐるぐるとまわる日々慣れましたが、写真撮影の奥深さを痛感することが多々あります。景色・人物で撮り方は違い、屋内・屋外でも明るさを考えて調整する必要があります。学ぶことが多く、テクニックを駆使するプロのカメラマンを尊敬せざるを得ません。11月2日・3日に行われた町芸術文化祭の写真展も、感心しながら作品を拝見しました。

町報には私が撮った写真が多く掲載されています。ぜひお楽しみいただくとともに、「こうすれば良くなるよ」などご意見がありましたら何なりと教えてください。

編集後記

悠